



## 鉱業博物館サイエンスボランティアの協力により 環境整備事業が行われました

平成29年5月2日(火)、鉱業博物館屋外の環境整備をサイエンスボランティア(以下SV)の協力で行いました。博物館へ通じる坂道の両側には桜の木が植えられています。この日は、坂道に散った花びらや落ちた枝などの掃除をしました。また、5月16日(火)には有志のサイエンスボランティアによる桜の萼(がく)拾いもしていただきました。



お疲れ様でした!

参加した13名のSVは、両日とも約2時間作業を行いました。縁石の溝に溜まったごみが取り除かれ、すっきりときれいになりました。

ご協力いただいたSVの皆様、ありがとうございました。



鉱業博物館の表示を清掃中



雑草を取っています

### 2階展示棟入口

## 岩石プレパラート写真展示が始まりました

展示の様子



当館2階展示室入り口で、造岩鉱物をテーマとした、岩石プレパラートの顕微鏡写真の展示を行っています。

岩石の研究では、含まれる鉱物の種類や組織を観察するために、岩石を光が透るくらい薄くしたプレパラートを作ります。その偏光顕微鏡写真を集めました。

今回展示されているのは、異なる種類の岩石のプレパラート10枚です。それぞれに含まれる代表的な造岩鉱物を写しています。形や色の違いに注目しながらご覧ください。



作業風景

## Googleマップ インドアビュー 鉱業博物館内の撮影が行われました

平成29年6月初旬から、Google マップインドアビューサービスにて鉱業博物館内を公開する予定です。

これまでGoogle マップストリートビューでは、博物館の外観だけで、内部の様子までは見られませんでした。Google マップインドアビューサービスにより、博物館内の1階から3階までの展示棟内を、高精細な360度のパノラマ写真で見渡せます。

### 館内撮影時の様子



(株) Imaginext 撮影

館内インドアビューサービスの撮影は、平成29年4月20日(木)に、1階から3階の15地点で行われました。屋外の撮影で使用する移動式カメラと違い、三脚で固定したデジタルスチルカメラで撮影されました。

### 特別展が終了しました

平成29年5月7日(日)まで開催されていた、平成28年度鉱業博物館特別展「惣山奉行 梅津政景が興した秋田の鉱山と町」が終了いたしました。大変好評で、期間中はたくさんの方に足を運んでいただきました。また館内アンケートでは、特別展がおもしろかった、鉱山開発の歴史がよく理解できた、といった声も寄せられました。ありがとうございました。

# 鉱業博物館業務体験履修ガイダンス が行われました



「鉱業博物館業務体験」履修ガイダンスの様子

けました。その後、履修手続きを行ってガイダンスは終了しました。の興味、関心の高さがうかがえました。

平成29年4月20日(木)および4月24日(月)、「鉱業博物館業務体験」の履修ガイダンスが行われました。「鉱業博物館業務体験」は、秋田大学生を対象とした教養教育科目です。昨年度は、学生が新着標本の入れ替えや、標本ラベルの作成、ジュニアサイエンススクール(子ども向けイベント)の準備や当日の児童対応など、博物館に関する様々な業務を行いました。

2回のガイダンスには、学生が合わせて21名集まり、西川鉱業博物館講師から詳細な説明を受一年を通して活動を希望する学生が多く、博物館へ

## 今井鉱業博物館長が「秋田の史跡を学ぶ会」で講演しました

平成29年4月26日(水)、今井鉱業博物館長が「秋田の史跡を学ぶ会」の依頼で、「佐竹氏が造った秋田の鉱山と町」と題して、当館講堂で講演を行いました。

講演は、秋田藩時代の鉱山開発について、5月7日(日)まで開催していた特別展「惣山奉行 梅津政景の興した秋田の鉱山と町」の内容を中心に話が進められました。始めに、秋田に転封された初代藩主の佐竹義宣が、鉱山や新田開発を行って町や村づくりをしていった、と話しました。そして、その開発を主導した側近について、秋田藩の検地を行った渋江政光、仁井田堰の開発を進めた梅津憲忠(梅津政景の兄)、院内銀山の水貫坑道の開発や阿仁銀山町の開発など、生涯、惣山奉行として秋田藩の国づくりを指揮した梅津政景を取り上げて解説をしました。

講演会には39名が参加し、ノートにメモを取ったり、感想を述べたりしながら熱心に聴講していました。



今井鉱業博物館長



講演の様子



2画面のプロジェクターを使用しました

## ミュージアムショップから新商品のご紹介



4月からミュージアムショップの販売品に、いくつかの新商品が加わりました。その中の一つに「石の絵具」があります。この商品は、石から絵の具を作ることが出来るキット商品です。群青色の藍銅鉱(アズライト)、緑色の孔雀石(マラカイト)、赤色の碧玉(ジャスパー)、サハラ砂漠の砂(淡肌色)の他、研磨剤や定着剤など一式がセットされており、誰でも手軽に絵の具を作ることができます。絵の具を作成する行程も楽しみたい方は、ぜひチェックしてみてください。



自然の色を楽しめます!

石の絵具 1,530円(消費税込み)

### 商品に入っている鉱物について

#### ● 藍銅鉱(アズライト)

銅鉱床の酸化帯で、銅鉱物が炭酸イオンを含んだ水と反応して生成します。日本画の顔料で、「群青色(ぐんじょういろ)」として使われてきました。

#### ● 孔雀石(マラカイト)

銅鉱床の酸化帯で見られる鉱物です。二酸化炭素と水が銅の成分に反応して生成します。緑色の岩絵の具「緑青(ろくしょう)」として使われてきました。

#### ● 碧玉(ジャスパー)

微細な粒状あるいは繊維状の半透明の石英を玉随といいます。碧玉は、不純物を含んで不透明になった玉随の一種です。